

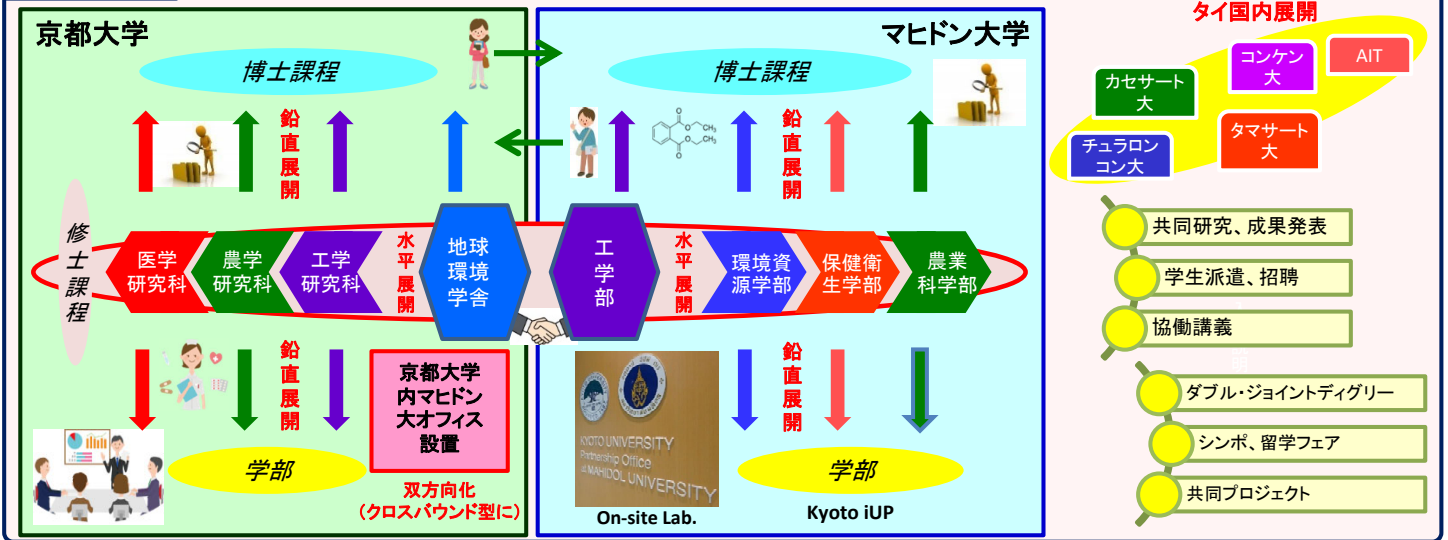
## 基本情報

- ◆ 認定年度: 2018(平成30)年
- ◆ 設置時期: 2019(平成31)年3月、開所式開催  
(2016年1月設置のマヒドン大学拠点からアップグレード)
- ◆ 実施部局: 地球環境学舎、共同実施部局: 工学研究科・農学研究科・医学研究科(当初は地球環境学舎単独実施であったが、2020年度から共同実施)
- ◆ 相手方機関: マヒドン大学(タイ)
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置場所: マヒドン大学(タイ・バンコク)
- ◆ 活動内容: 環境学について共同で教育研究活動を行う。優秀な留学生の獲得や国際共同プログラムへの発展が期待できる。

## 活動による大学全体への波及効果

- 現地企業も含めた国際共同研究進展
  - 優秀な留学生獲得
  - 現地学生への教育・研修の提供
  - 国際共同学位(JD・DD)プログラム発展
  - 文理融合の促進
  - クロスバウンド型への発展
- 【2018～23年度主要活動実績】
- 毎年度オンサイトラボワークショップ(第1回(2019/3/8)、第2回(2019/11/25 京大)、第3回(2020/3/11 Online)、第4回(2020/11/27 Online)、第5回(2022/3/11 Online)、第6回(2023/3/29 Online)、第7回(2024/2/23 現地63名、Online60名)を開催。京大国際シンポ(2020/11/30-12/1 Online)を主催。
  - 地球環境学舎は2016年度、医学研究科健康社会系専攻は2019年度、農学研究科は2022年度ダブルディグリー(DD)を締結。2024年3月末累計で、地球環境学舎では京大生1名、マヒドン大学生14名が、医学研究科ではマヒドン大学生2名が参加あるいは参加予定。
  - 2018～19年度、マヒドン大学から17組52名、京大から15組57名が各々訪問。2020-22年度は新型コロナにより交流が大きく制限され、マヒドン大学から7組9名、京大から1組1名のみ。23年度は、京大からのべ9組30名、マヒドン大より6組19名が訪問。
  - 協働講義、共同研究、共著研究発表、インターンシップ等を実施。

## 活動概要



## 2023年度の主な活動実績

### ① シンポジウム・ワークショップ

- 2023年12月11日開催の京都大学国際シンポジウム(地球環境学舎主催、ベトナム・フエ農林大学を主会場に、オンラインとの併用によるハイブリッド)で、マヒドン大学から、①口頭発表「環境技術」セッションのコーディネーター(Suwanna Boontanonクロスアポイント准教授)、②6件のPoster発表(内2件は京大との共同発表)、③若手研究者・教員の与えられる優秀Poster発表賞で3件の受賞(全体で13件)、④1件の口頭発表で、シンポジウムに大きく貢献した。
- 第7回オンサイトラボラトリーワークショップ(2024/2/23): マヒドン大Salayaキャンパスとオンライン併用: 京大とマヒドン大を中心に研究者・学生ら123名(現地参加63名、オンライン60名)が参加。まず河野泰之京大副学長とThanapat工学部長の挨拶があり、続いてダブル・ディグリープログラムと本On-site Laboratoryとの連携についての講演・討議が行われた。その後、「環境工学」、「化学工学」、「農学・生態系」、「公衆衛生」の4つの分科会に分かれ、研究紹介と共同研究・教育のための討議が行われた。その後、各分科会からの報告と総合討論の総括セッションが実施され、最後はPattaraporn Posoknistakul工学部副学部長と宇佐美誠副学長による閉会の辞をもって終了した。

### ② 学生の交流・学位プログラムを実施

- 地球環境学舎(2016年11月マヒドン大学(MU)工学研究科)、医学研究科社会健康医学系専攻(2019年2月MU公衆衛生学研究科)に続き、農学研究科で2022年7月にMUカンチャナブリキャンパス)とダブルディグリー(DD)を修士課程(MC)で締結した。工学研究科(MU工学研究科)、農学研究科(MU理研究科)でも締結に向けた準備を進めている。さらに、2024年3月に地球環境学舎とMU公衆衛生学部の間で部局間学生交流協定を締結。
- MU工・土木環境工学専攻修士2020年8月入学のDD生2名が、MUのMCを修了(京大地球環境学舎MCは前年度に修了)。
- MU工・土木環境工学専攻修士2021年8月入学のDD生2名が来日し、京大地球環境学舎MCに2022年4月入学。2024年3月に京都大学を修了。
- MU工・土木環境工学専攻修士2022年8月入学の学生2名が2023年4月京大地球環境学舎MC入学、2023年3月末に帰国。
- MU工・土木環境工学専攻修士2023年8月入学の学生2名を2024年4月京大地球環境学舎MC入学生として選抜。1年間の滞在予定。
- 2020年6月にマヒドン大学公衆衛生学部修士課程入学の学生で医学研究科社会健康医学系専攻修士課程に入学したDD生が、2023年9月に京大から社会健康医学系専攻の専門職学位を取得。
- MU工・化学工学専攻修士課程を修了した学生が文科省奨学金(大学推薦)により京大工学研究科化学工学専攻博士課程に入学(2023年4月)。

### ③ 共同研究成果を国際共著として発表

- 両大学の共同研究の成果を、国際・国内会議で8件、査読論文で5編、国際共著として発表。